



四月になりますと、本当に春が来たと誰でも感じると思いますが、「春の小川」ではありませんが、小川や田んぼに足を向けてみませんか。ピンクや黄色、藍色に混じって、田んぼ一面に白い花が広がっていることがあります。タネツケバナ、ノミノフスマなどが群生しているのです。

▼ノミノフスマとは

ハコベ属に含まれる越年草で、国内では北海道から沖縄、小笠原まで見られ、水田、畑、耕作地周辺、道端など少し湿った場所によく見られます。人里に見られる植物です。葉も小さく、花の無い時にはあまり気づかれませんが、町内でも普通に見られます。国外では朝鮮半島、中国、ウズリ地方で知られており、学名の母種になるものはヨーロッパから中国東部、北アメリカに分布しているそうです。花は三月から八月とされていますが、目立つのは三月末から四月です。秋に

里山に育む生きものたち

57 ノミノフスマ (ナデシコ目 ナデシコ科)

学名 *Stellaria uliginosa* Murry var. *undulata* (Thunb.) Fenzl

文・写真 / 安 昌美

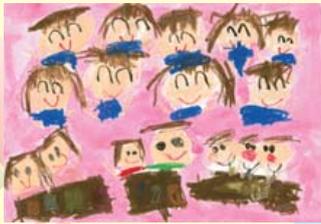
芽をだし、冬を越し春からよく成長して開花・結実をし、夏の終わりには枯れますので、越年草といえます。時にはその年内に開花・結実・枯死するものも知られています。これなら一年草です。花弁は五枚ですが、各花弁は深く裂けていますので、十枚のように見えます。雄しべの葯は黄色です。数は変異がありますので、近づいて観察してみませんか。種子は小さく表面に鈍い突起があります。

▼ノミノフスマの名前

和名は「蚤の衾」のことで、葉が小さく、平であることから、小さな蚤(ノミ)に掛ける夜具という意味で付けられたといえます。今はノミやシラミを見たことのある子どもはほとんどいないでしょうし、平安時代から使われたという「衾」は日常生活からは遠い言葉です。耕作地では雑草とされていきますが、名前の由来から、少し気にかけてください。



「えほんやさん」
よしざわ うみ (5歳)



「おみせやさんごっこ」
つちだ りこ (5歳)

ちびのこアート
ワイステリアナーサリー
スワール



編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数

※カッコ内は前月比です。
(住民基本台帳 平成29年2月末現在)
◆総人口 33,140人 (-21)
男 16,549人 (-16)、女 16,591人 (-5)
◆世帯数 12,766世帯

DATA

茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

再生紙を使用しています



※ 印刷に優しい大豆インクを使用しています